



タブレット端末使用のルール

タブレット端末はみなさんの学習に役立てるためのものです。上手に使いえば、より広く、深く学ぶことができる、とてもすぐれた道具です。

全校生徒でこのルールを守り、タブレット端末を「安心・安全・効果的」に活用していきましょう。

1. 何のために使うのか

守口市から貸し出すタブレット端末は、学習活動のために使うことが目的です。ゲームなど、学習活動に関わる以外に使うってはいけません。



2. タブレット端末の扱い方

学校での学習や自主学習で、使いたいときに使えるよう、タブレット端末は日ごろから注意して扱きましょう。

【注意すること】

- ・登下校中は、タブレット端末を落としての破損や、歩きながらの操作による事故を防ぐため、かばんやランドセルから出しません。
- ・タブレット端末が壊れないよう、持ったまま走ったり、地面や不安定なところ、人が歩くようなところに置いたりしません。また、カバーを持ってぶら下げずに本体をしっかり持ちます。
- ・画面割れの原因になるため、かばんやランドセルの下に置いたり、かばんの底に入れたりしません。また、タブレット端末が入ったかばんやランドセルを放り投げません。また、硬いものやと

がったもので画面をたたきません。

・タブレット端末は水分や高温が故障の原因になるため、水をかけたり、湿気の多いところで使ったりしません。また日光が直接あたるところやストーブなどの暖房器具の近くなどには置きません。また、磁気も故障の原因になるため、磁石などを近づけません。

・文字の入力は、タブレット端末の画面に指で書いたり、キーボードを使ったりします。画面割れの原因になるため、鉛筆やペン(タブレット端末専用ペン除く)で書きこみません。

・充電コードなどは専用のものを使い、タブレット端末の差し込み口に合わないものを差しません。

3. タブレット端末の使用時の注意点

タブレット端末を使うときには、夢中になって時間を忘れて、先生の指示や友だちの話しかけが聞こえなかったりすることがあります。また、健康に過ごすためにも使う時間(小学生は午前8時から午後9時まで、中学生は午前8時から午後10時まで)には気をつけましょう。

【学校で使う場合】

・いつ、どのような使い方をするのが良いのか、先生やクラスメイトと話し合うなど、正しい使い方について考えます。

・学校でタブレット端末を使うときは、先生の指示をよく聞きます。

・休み時間や放課後での使い方や使う場所については、先生やクラスメイトと話し合い、先生の指示をよく聞きます。

【家庭で使う場合】

- ・使用する時間は家の人とよく話し合い、長時間使用せず細かく休憩しながら使います。
- ・睡眠時間を十分取り、健康に過ごすためにも、就寝する30分前は使いません。
- ・自宅に持ち帰った後に学校へ持ってくる時は、付属の専用の充電器を用いて、自宅で十分に充電しておきます。
- ・自宅のパソコンとタブレット端末は接続しません。



4. 健康のために

もっと学びたいという気持ちはあっても、健康な体がいなければ力を出すことができません。学習を深めるためにも、健康を心がけてタブレット端末を使いましょう。

5. 保管

学習に役立つため、学校でも家でも適切に保管し、次に使うためのために充電しておきます。

6. 情報モラル

社会では、誰もが情報の送り手と受け手の両方の役割をもっています。情報はインターネット上で瞬時に世界中に伝わり、予想しなかった影響を与えることもあるし、対面のコミュニケーションでは考えられなかったような誤解が生まれることもあります。

このような情報社会で、適正な活動を行うための基になる考え方と態度を「情報モラル」とい

い、みなさんが身に付けなければならないことの一つです。

【安全な使用】

- ・インターネットであやしいサイトに入ってしまったときは直ちにブラウザを閉じ、すぐに先生に知らせます。(家での場合は、お家の人に相談し、すぐに先生に知らせます)
- ・みなさんの心と体を守るために、端末にはフィルタリングをかけています。お金を請求されるようなサイトに入ろうとすると、自動的にインターネット通信が切られることがあります。また、「自殺」や「家出」などに関連する検索をすると教育委員会や学校に通知があります。心配事や悩み事は、インターネットで調べるのではなく、おうちの人や先生に相談してください。

【個人情報など】

- ・自分のタブレット端末を他人に使わせません。
- ・自分のID やパスワードを他人に見せたり、話したりしません。
- ・自分や他人の個人情報(名前や住所、電話番号など)はインターネット上に書き込みません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることは書き込みません。一度インターネット上に掲載した情報は、完全に消去することができません。インターネット上に掲載する場合は、自分だけでなく、自分の周りの人たちの立場になり、世界中の誰が見てもよい情報かを十分考えます。
- ・インターネット上に自分に関するいやな書き込み等があった場合、すぐにお家の人や先生に知らせます。警察に相談することもできます。

【カメラでの撮影や動画等の再生】

・授業で観察や実験をする場合や、ビデオ会議（オンライン授業）や発表の練習を行う場合などを除き、カメラは使いません。

・カメラで人物を撮影するときは、勝手に撮らず、必ず撮影する相手の許可をもらいます。撮影が禁止されている場所もありますので、その施設等のルールに従います。

7. 不具合や故障

学校で、タブレット端末本体やインターネットが使えなくなって、再起動をしても元にもどらないときは、すぐに先生に知らせましょう。

家庭でこわれたり、なくしたりしたときは、すぐに先生に知らせてください。

